



## 臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### **【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】**

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3550-7065

担当者の所属・氏名 脳神経外科・伊藤 光希

### **【研究責任者】**

聖路加国際病院 脳神経外科・伊藤 光希

# 脳内出血と診断された患者さんを対象とした

## 降圧薬の有用性に関する研究

### 1.研究の対象

- ・2019年1月から2024年12月の間に脳内出血の診断で当院に入院された方

### 2.研究の目的・方法

当院は24時間体制で幅広い救急対応をしており、脳卒中患者も多く受け入れています。

脳内出血患者さんにおいて、急性期での収縮期血圧（上の血圧）を140以下に目標とする積極的降圧療法が、機能に関する経過や結果を改善することが示されており、脳卒中治療ガイドライン2021においても、可能な限り早期の降圧（収縮期血圧140未満）および発症7日間は収縮期血圧140未満の血圧管理を維持することが推奨されています。

サクビトリルバルサルタンナトリウム水和物（商品名：エンレスト）は、慢性心不全治療薬として使用されてきましたが、我が国において2021年9月より「高血圧症」の追加承認を取得し、他の降圧薬と比較しより強い降圧効果が報告されています。しかし、脳内出血を含めた脳卒中領域におけるサクビトリルバルサルタンナトリウム使用による治療成績の報告はほとんどありません。今回の研究では、脳内出血患者さんの急性期におけるサクビトリルバルサルタンナトリウム水和物の降圧薬としての有用性を検討することを目的としております。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人 研究機関の長による実施許可後～2025年12月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2025年2月3日を予定しております。

### 3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 カルテ番号、年齢、性別、病歴、入院日、血液検査データ、副作用などの発生状況、入院中に投与した薬、入院後の血圧の推移等